

「馬印の氷砂糖」の販売につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
5月も中旬となり間もなく青梅の出回る時期となりました。氷糖の出荷につきましては、万全を期しておりますが、ご注文の集中が予想されるため、お早めの指図をお願い申し上げます。

梅の状況

和歌山県 2012年5月2日撮影

◆和歌山県

結実後の天候は順調で5月2日現在、2cm前後の実を付けており、生育の遅れも平年に比べ一週間程と回復してきております。ただし、実付は平野部、山間部とも園地、木により大きなバラツキがみられ、全体的に少ない状況です。今年は開花期間が短く天候不順であったため、ミツバチの活動状況が悪かったようです。

4月24日の着果調査では、各品種とも着果数が非常に少なく、生産予想は前年比60~70%と厳しい見通しになっています。出荷時期は平年よりやや遅く、小梅、古城は5月20日頃、南高は6月初旬より始まり中旬にピークを迎え、6月末まで続きます。着果数が少ないと肥大しやすく、大玉で品質の良い梅が多く出まわったこともあり、期待しています。

産地では梅干の需要低迷により、確実に消費が期待される青梅の数量を確保すべく努めています。

◆群馬県

開花時期は例年より2週間遅れ、開花期間の天候不良で受粉環境は良くありませんでした。5月8日現在、実の大きさは1~2cmで、まだ第二次生理落果は終了していません。作柄予想は前年比60~70%の見込みです。出荷は例年より約1週間遅れの6月6日頃からはなると思われまます。

◆その他

福井県では満開期を平年より2週間遅れの4月上旬を迎えたため、雪の影響はありませんでした。結実は良く、生育の遅れも取り戻しつつあります。作柄は今後の気候にも左右されますが、前年比120~150%を想定しています。

また、弊社の南濃梅園では近年にないほどたくさんの実を付けています。

梅の品種は全国で数十種類あり、気候の違いで開花時期は1~5月と幅広く受粉状況は異なります。今年の作柄は地域により大きな差がでているようなので、是非地元の梅の状況を参考にしてください。



群馬県 2012年5月8日撮影

長期陳列のお願い

和歌山南高のピークは6月中旬で、末までは収穫されます。また地場の梅は遅く、例えば中部地区では6月中旬過ぎが収穫時期になります。一部量販店では6月中旬に梅コーナーを引き揚げられることがありますが、販売チャンスをロスしないよう長期陳列のアドバイスをお願いします。

コンテナ出荷リードタイムのお願い

昨今、環境に対する意識の高まりと、原油価格高騰により大口配送がトラック輸送からコンテナ輸送に移行し、コンテナ不足及び鉄道輸送量過多の状況です。よって従来通りのリードタイムでは配送が困難な状況であります。つきましては、コンテナ出荷において余裕を持ったご注文を頂きますようお願い申し上げます。

販促 ◆梅シロップ教室、マネキン試飲

・6/2~6/17 全国各地の量販店で実施

◆全日本氷糖工業組合PR

- ・6/6日本テレビ「ヒルナンデス」インフォマーシャル
- ・5/24 読売こども新聞
- ・ママブログ

ホームページ/弊社南濃梅園のご案内

【パソコン用】 <http://www.nakahyo.co.jp/>

【携帯用】 <http://www.nakahyo.co.jp/i/>



弊社ホームページ(パソコン用)にて、南濃梅園の生育状況を二週間毎にお知らせしています。ぜひ一度アクセスして頂き、氷糖販売のご参考にして頂ければ幸いです。

本年も引き続き梅酒、梅シロップのPRを積極的に行い、消費の拡大につなげていきたいと考えています。何卒、従来にも増して「馬印の氷砂糖」のご愛顧をお願い申し上げます。



南濃梅園 2012年5月10日撮影

以上